

日高の記憶

vol. 9

問い合わせ 生涯学習課文化財担当
☎985-0290

日高市のシンボルである日和田山にある金刀比羅神社の岩場は、絶好の展望地として、また山歩きの休憩の場として親しまれています。関東平野へと広がる扇状地形と巾着田、高麗丘陵そして遠く丹沢、大山や富士山を望むことができます。

日和田山の眺望



◀ここからの眺めは、^{いかに}伐を組み直す継ぎ立て場所だった鹿台橋のたもと、巾着田に水を入れるための鹿台の堰など、丘陵や高麗川の蛇行といった地質事象を農耕や流通に上手に活用した見事な調和を体感できる絶好の地点です。

地質を観察し、その成り立ちや仕組みを学び、地形や生態系から人間生活との関わりや街の広がりを考えると、この眺望は学術性の高い名勝地といえます。



今から約2億年前のチャートの層

◀ゴツゴツとした岩場は日和田山を構成するチャートと呼ばれる堆積岩です。これは奥武蔵の山々を形成する古生代から中生代にかけて帯状に広がる「秩父帯」を構成する岩石の一種です。地層の面である層理面が広がりをもって現れ、板状の構造であることがよく理解できます。



▲鹿台の堰

現在、巾着田が水田である最も古い記録は、堀口家文書「武州高麗郡内高麗本郷御地詰帳」にある慶長2(1597)年市原田に2丁8反の水田という記述です。



武藤千陽ちゃん(0歳6か月)



坂本叶希音ちゃん(4歳0か月)
永叶ちゃん(2歳0か月)



鹿島理久斗ちゃん(1歳5か月)
由依斗ちゃん(1歳5か月)

わが家の
愛撮る

お子さんの写真を掲載しませんか？電子申請で簡単に投稿できます。➡

令和4年11月1日発行 編集／市政情報課 発行／日高市役所 〒335-0129 埼玉県日高市大字南並沢1020番地 ☎042-989-2111 FAX 042-989-2316

編集室

3年ぶりに巾着田曼珠沙華まつりが開催されました。私にとり初めの曼珠沙華まつりで、一面に広がる真っ赤な曼珠沙華に感動しました。近づいてみると花の一本一本がきれいな形をしていて魅力的でした。巾着田の魅力をもうたくさんの人々に知ってもらえたら良いなと思います。これから本格的に寒くなってきましたので、お体に気を付けてお過ごしください。(一)

食欲の秋！おすすめの健幸レシピ

ヘルスメイトの皆さんに聞きました！

おいしいですよ！

きのこご飯
レシピはこちら▶